

～Well-being研修～ <講演タイトル>

「全員」が本当に働きやすい 職場にするために

～働く女性支援のポイントと落とし穴～

ZOOM
開催

11.15 (金) 開催

14:30-15:30

申込



内容

Well
being

<大阪大学 全教職員・学生対象>

～特に男性管理職の受講を推奨します～

＼こんな思いをしたことはありませんか？／

- ・働く女性の支援って何をすればいいの？
- ・全員が働きやすい職場にするには、
どうすればいいの？

近年、女性特有の健康課題は社会全体の負担として考えられるようになり、日本では1年間に月経痛随伴症状で約5,700億円、更年期症状で約17,200億円の労働生産性損失が推計されています。働く女性支援の必要性が叫ばれる一方で、約3割の企業が「当事者(女性)のニーズを把握しにくく何をすればいいかわからない」と回答するなど、具体的な支援策まで結びついていない現場も多い状況です。また、妊娠中や育児中の女性が支援されるなか、それ以外のスタッフに過度な負担がかかり業務に支障がでるなどの声も聞かれています。

「全員」が働きやすい職場にするためには、女性への配慮に加えて全員の業務改善や休息が十分に取得できる取り組みが重要です。

本講演では、女性が持つ健康課題である月経症状や更年期障害への対応を学び、全員が働きやすい職場にするためのヒントを紹介していただきます。

3 すべての人に
健康と福祉を



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



共催

大阪大学 医学部附属病院
DEIイニシアティブ

ZOOMウェビナー登録はこちら

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_pU8FZHMPRNAM_b_nwL_mQ

- ▶ 申込期限なし
- ▶ 当日参加可能



講師

柴田 綾子氏

淀川キリスト教病院 産婦人科医



<略歴>

2006年3月 名古屋大学 情報文化学部 自然情報学科 卒業
2006年4月 群馬大学 医学部 医学科 3年次 編入
2011年4月 沖縄県立中部病院 初期研修
2013年4月 淀川キリスト教病院 産婦人科 入職

<資格>

産婦人科専門医、産婦人科指導医、周産期専門医

<著書>

女性の救急外来 ただいま診断中！(中外医学社,2017)、産婦人科ポケットガイド(金芳堂,2020)、女性診療エッセンス100(日本医事新報社,2021)、明日からできる! ウィメンズヘルスケア マスト&ミニマム(診断と治療社,2022)

<学会発表>

2022年日本気管食道科学会 医療現場でできる10コの働き方改革
2022年日本眼科学会総会
働き方改革におけるダイバーシティを進める7つのコツ
2020年日循中国地方会 明日からできる! 働き方改革10の方法

問い合わせ先

<https://www.di.osaka-u.ac.jp/>



大阪大学
ダイバーシティ&インクルージョンセンター
Center for Diversity and Inclusion

